



2021年11月26日

各 位

東京都港区港南二丁目16番1号
大東建託株式会社
代表取締役社長 小林 克満
(東証・名証第1部 コード番号 1878)

当社初のグリーンボンドの発行条件決定に関するお知らせ

～環境改善効果に資する第1回無担保社債の発行について～

当社は、2021年10月28日に発表しました、当社初の「グリーンボンド(※1)(以下、本社債)」の発行に関して、本日発行条件を決定しました。また、条件決定に伴い、後述の投資家より投資表明を頂いておりますことをお知らせします。

記

1. 本社債の概要

銘柄	大東建託株式会社第1回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)(別称:大東建託グリーンボンド)
発行総額	110億円
年限	10年
利率	0.460%
条件決定日	2021年11月26日(金)
発行日	2021年12月2日(木)
償還日	2031年12月2日(火)
取得格付	A(株式会社格付投資情報センター)
主幹事証券会社	野村證券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 SMBC日興証券株式会社
第三者評価(外部評価)	「大東建託グリーンボンド・フレームワーク」(※2)について、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、国際資本市場協会が定める「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2021」(※3)および環境省が定める「グリーンボンドガイドライン2020年版」(※4)に適合する旨の第三者評価を受けております。(※5)
ストラクチャリング・エージェント(※6)	野村證券株式会社
資金用途	余剰売電のための太陽光発電設備の新規設置に係る設備投資資金

(※1) グリーンボンド

調達資金の用途について、環境改善効果(環境性・グリーン性)を有する債券

(※2) 大東建託グリーンボンド・フレームワーク

https://www.kentaku.co.jp/corporate/ir/pdf/gb_framework.pdf

(※3) グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2021

グリーンボンドの透明性の確保、情報開示及びレポーティングを推奨し、市場の秩序を促進させるため、2014年1月に策定されているもの

(※4) グリーンボンドガイドライン 2020 年版

グリーンボンドの環境改善効果に関する信頼性の確保と、発行体のコストや事務的負担の軽減との両立につなげ、国内におけるグリーンボンドの普及を図ることを目的として、2017年3月より策定されているガイドライン

(※5) 第三者評価書

R&I グリーンボンドアセスメント/セカンドオピニオン

https://www.r-i.co.jp/news_release_gf/2021/11/news_release_gf_20211126_jpn_02.pdf

(※6) ストラクチャリング・エージェント

グリーンボンド・フレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン等外部の第三者評価の取得に関する助言等を通じて、資金調達の支援を行う者

2. 本社債に関する投資表明

本日時点において、本社債へ投資表明をいただいている投資家は以下の通りです。

<投資表明投資家一覧（五十音順）>

投資家名	
愛知信用金庫	東京海上アセットマネジメント株式会社
あぶくま信用金庫	東京シティ信用金庫
アルプス中央信用金庫	長野信用金庫
大阪信用金庫	学校法人中村産業学園
大阪府警察信用組合	西兵庫信用金庫
吉備信用金庫	ニッセイアセットマネジメント株式会社
岐阜信用金庫	播州信用金庫
桐生信用金庫	飯能信用金庫
桑名三重信用金庫	プルデンシャル生命保険株式会社
埼玉県医師信用組合	備前日生信用金庫
しののめ信用金庫	福島信用金庫
瀬戸信用金庫	福泉信用組合
大東京信用組合	益田信用組合
太陽生命保険株式会社	学校法人松山大学
高鍋信用金庫	三島信用金庫
銚子信用金庫	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
敦賀信用金庫	宮崎中央農業協同組合

当社グループは、今後もオーナー様、入居者様、株主様、取引先様、地域社会、従業員をはじめとするステークホルダーに対し、当社グループが目指す脱炭素社会の実現に向けた環境経営に取り組んでまいります。

以上

この件に関するお問い合わせ先
大東建託（株）経理部
岡本、小原
03（6718）9011

ご注意：この文書は、グリーンボンド発行に関して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。